

環境の取り組みの成果として

持続可能な地域社会をつくる「日本の環境首都コンテスト」への参加

本市は、環境施策・事業の取り組みの成果を見極め、これからの持続可能な地域づくりのための課題抽出や他の自治体と情報交換・交流を積極的に行うことなどを目的として、全国の環境市民団体が実施する「日本の環境首都コンテスト」に毎年参加しています。

日本の環境首都コンテストは、環境先進国ドイツの取り組みをモデルにしており、参加自治体の環境政策を NPO 法人環境市民を主幹事団体とする全国の環境 NGO ネットワークが評価するもので、2001 年から 10 年間にわたり毎年 1 回実施されました。

新城市は、人口規模 5 万人以上 10 万人未満という部門での参加となります。

【第 10 回『日本の環境首都』の条件】

環境首都コンテストにおいて、環境首都の称号を得ることができるのは、次の条件をすべて満たすことが必要です。

- ①総合で第 1 位であること
- ②総合点が満点の 70%以上であること（714 点以上／1020 点満点）
- ③15 分野中、3 項目以上が満点の 90%以上の点数を得ていること
- ④15 分野中、満点の 50%以下の点数の項目が 3 項目以下であること

※第 10 回で総合第 1 位を獲得した「熊本県水俣市」が、コンテスト始まって以来初めて、日本の環境首都の条件をすべて満たしました。また、第 2 位を獲得した「長野県飯田市」は上記条件のうち①を除きすべて満たし、かつ水俣市と得点差もわずかであったことから「明日の環境首都賞」が送られました。

【評価項目（2010 年）】

環境首都コンテストでは、持続可能な地域づくりに必要とされる次の 15 項目の取り組み状況及び自由記述が審査されます。

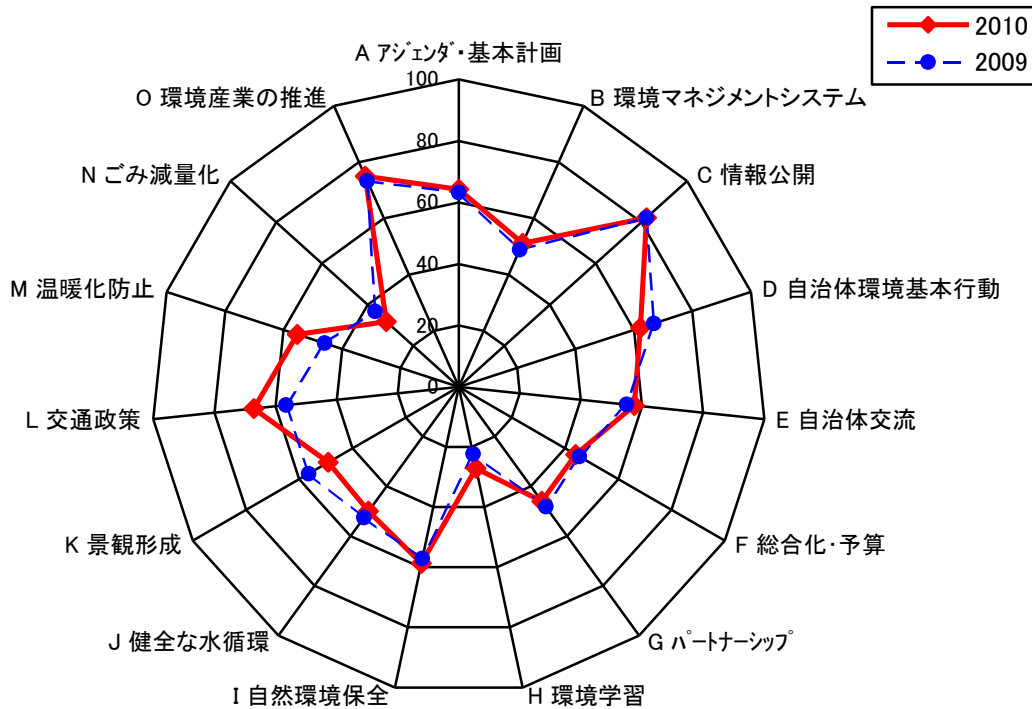
- A ローカルアジェンダ 21・環境基本条例・環境基本計画
- B 環境マネジメントシステム
- C 住民とともにチェックする仕組み・情報公開
- D 自治体内部における環境基本行動
- E 自治体との交流
- F 職員の資質・政策能力の向上、総合的な行政推進と予算編成
- G 住民のエンパワーメントとパートナーシップ
- H 環境学習
- I 自然環境の保全と回復
- J 健全な水循環
- K 風土を活かした風景づくり
- L 持続可能なまちづくりと一体化した交通政策
- M 地球温暖化防止・エネルギー政策
- N ごみの減量化
- O 環境に配慮した産業の推進

※【農業】【林業】【水産業】【工業】【商業】【観光業】から 2 項目を選択。

【「環境首都コンテスト 2010」 総合結果上位の自治体】

| 順位 | 自治体名 | 人口規模（人） | 前回順位 |
|----------|-----------------|---------------|--------------|
| 1 | 水俣市（熊本県） | 27,655 | 第1位 → |
| 2 | 飯田市（長野県） | 105,324 | 第2位 → |
| 3 | 安城市（愛知県） | 180,751 | 第3位 → |
| 4 | 岡崎市（愛知県） | 376,387 | — ↑ |
| 5 | 尼崎市（兵庫県） | 461,693 | 第8位 ↑ |
| 6 | 新城市（愛知県） | 50,746 | 第5位 ↓ |
| 7 | 熊本市（熊本県） | 724,984 | 第6位 ↓ |
| 8 | 掛川市（静岡県） | 115,512 | 第10位 ↑ |
| 9 | 宇部市（山口県） | 174,572 | 第7位 ↓ |
| 10 | 板橋区（東京都） | 536,433 | 第9位 ↓ |

本市の分野別得点率状況（2010年・2009年の比較）



【先進事例】

「環境首都コンテスト全国ネットワーク」の構成員からなる委員会により、地域特性を生かした事例、ユニークな着想がある事例、すばらしい成果をあげている事例などを選考し、先進事例として毎年全国に紹介されます。

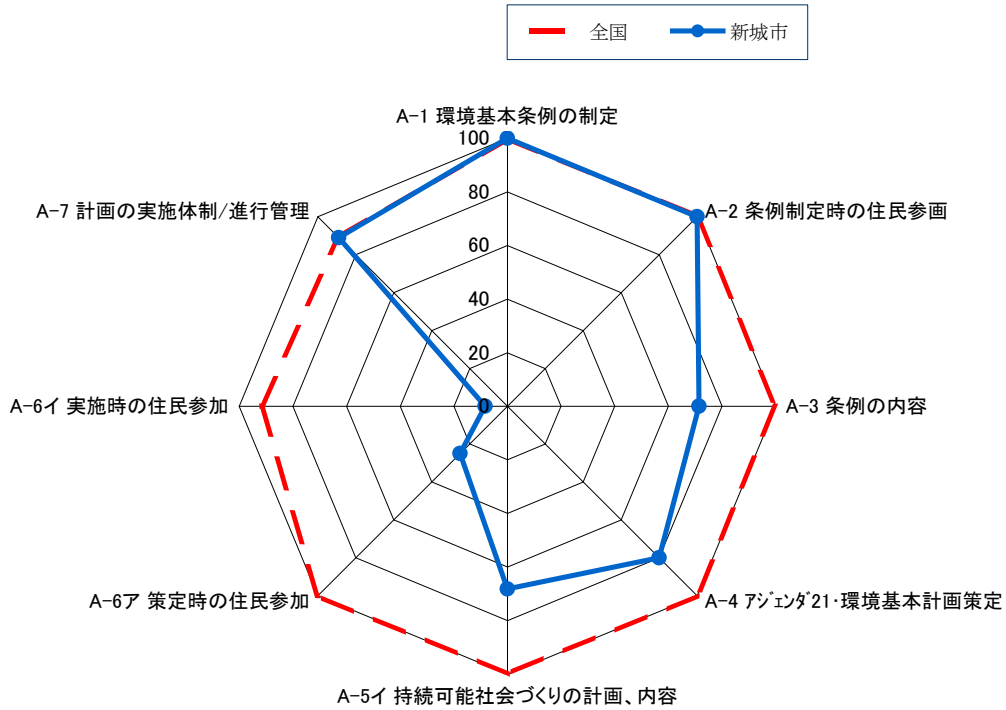
第10回の選考委員会でも、67事例が紹介され、全10回のコンテストで選出された先進事例は668に上りました。第10回の67事例のうち、本市からは下記の取り組みが紹介されました。

| 項目 | タイトル |
|----|-----------------------------|
| F | 新たなる組織！「総合政策部」の船出 |
| L | 路線の利用者による市民検討会、路線を守り育てる会の設置 |

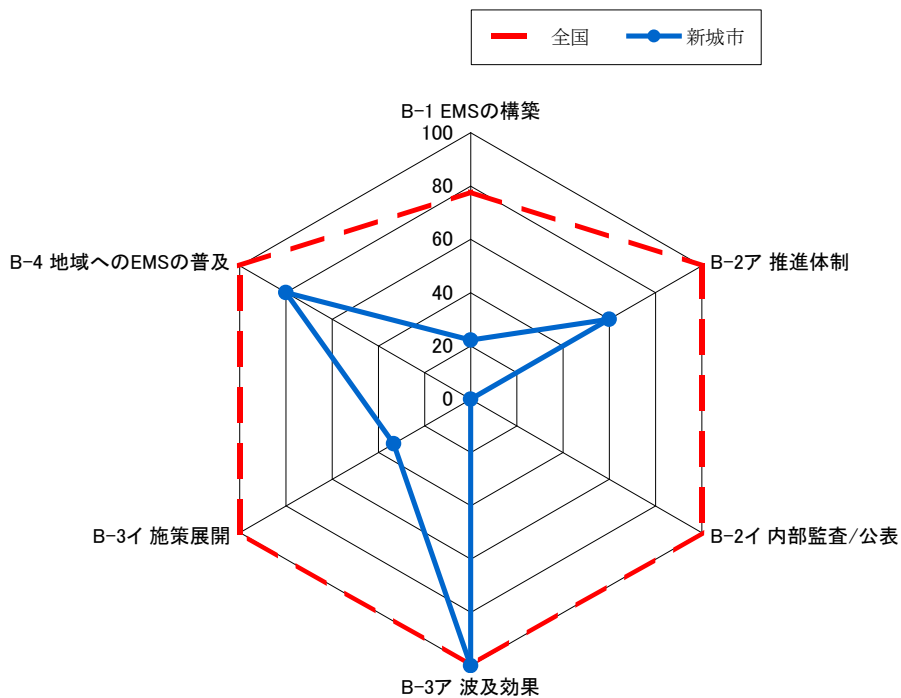
【環境首都コンテスト 2010 の結果（各項目の配点に対する得点率の全国との比較）】

A ローカルアジェンダ 21・環境基本条例・環境基本計画

※本項目における順位 全国第3位

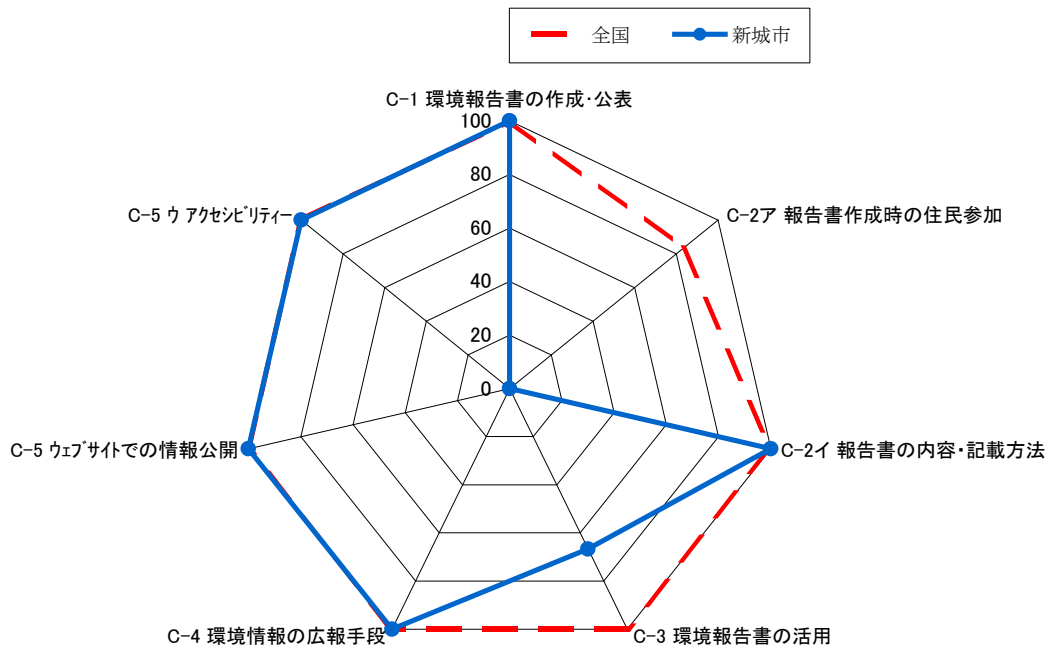


B 環境マネジメントシステム

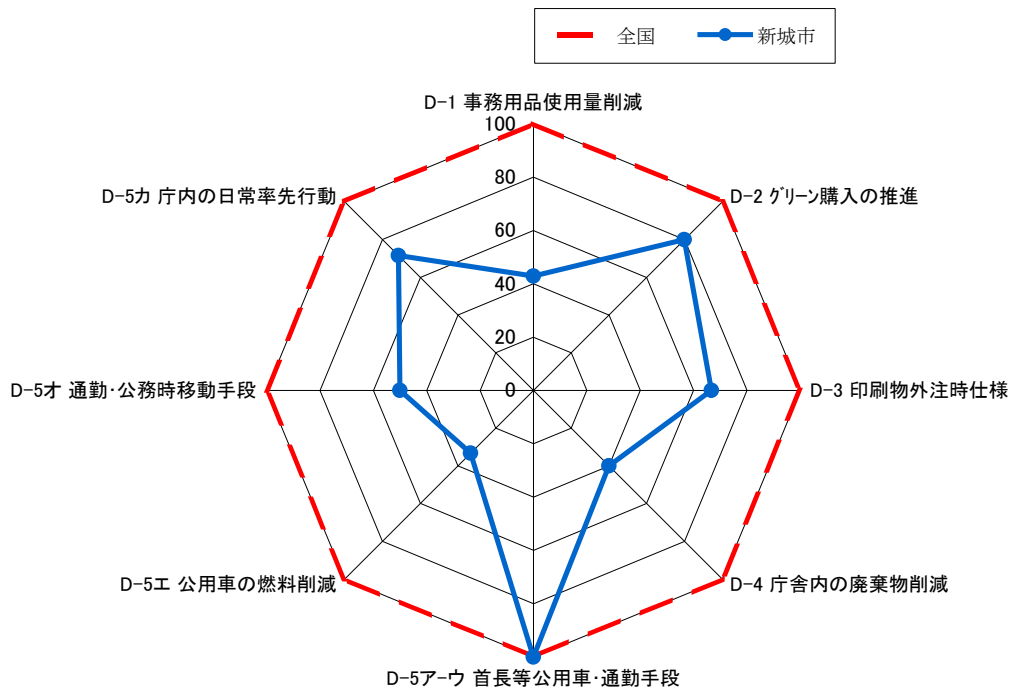


C 住民とともにチェックする仕組み・情報公開

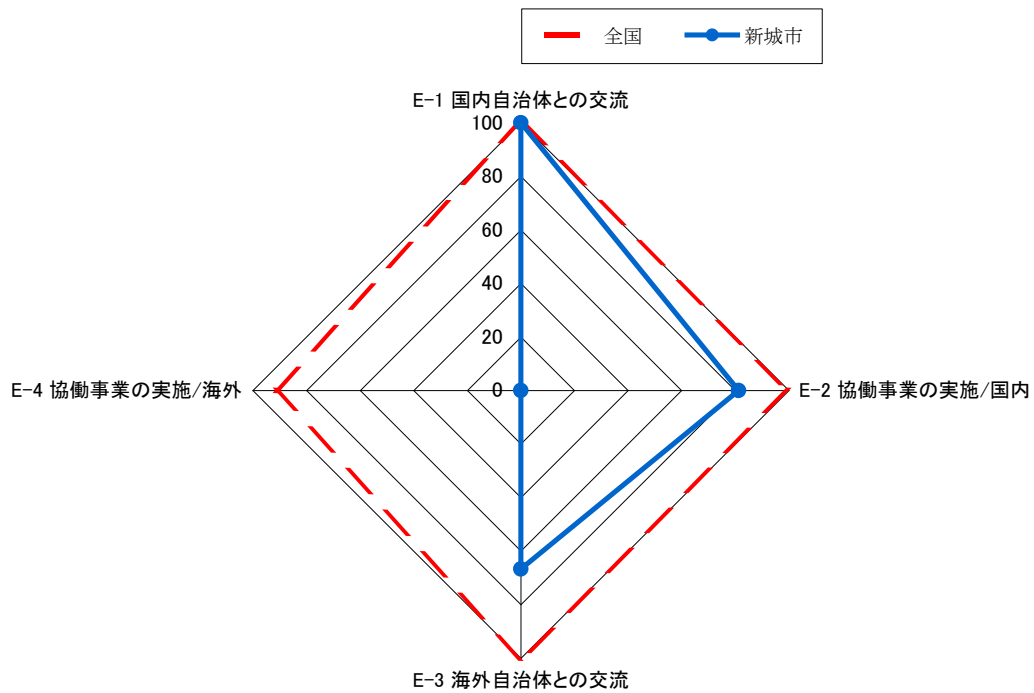
※本項目における順位 全国第3位



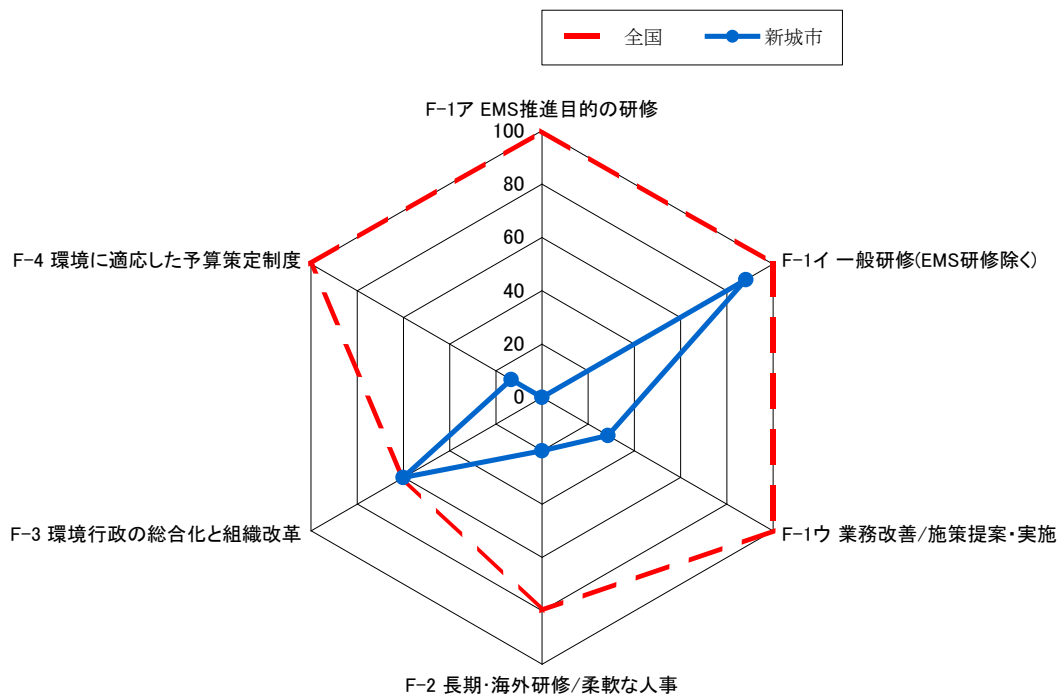
D 自治体内部における環境基本行動



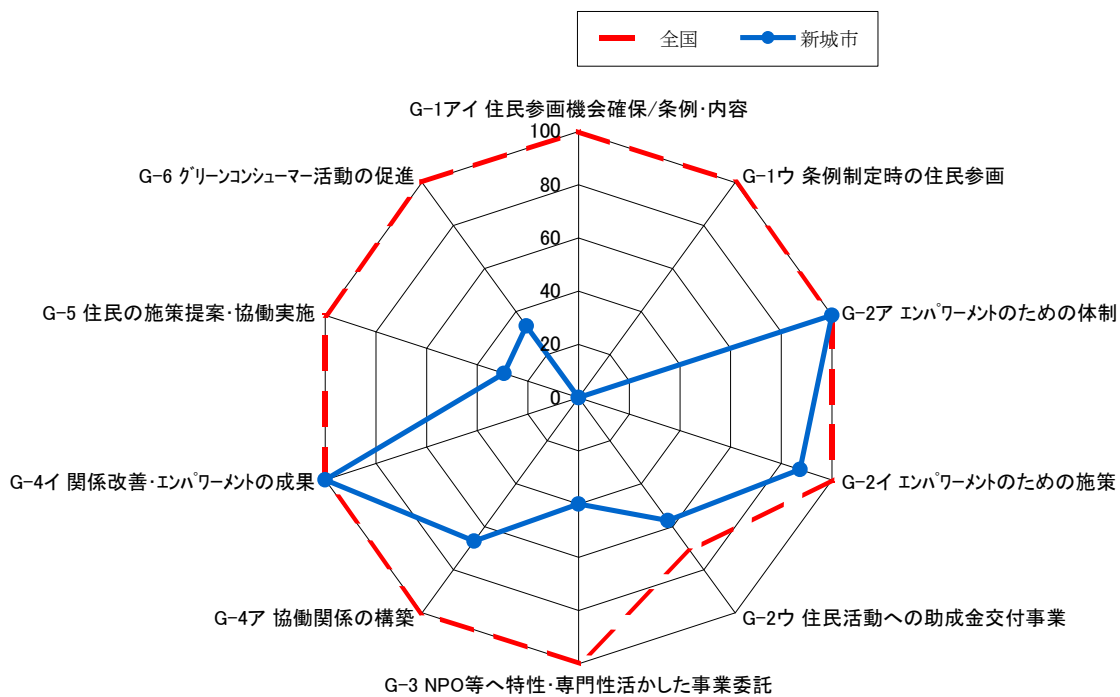
E 自治体との交流



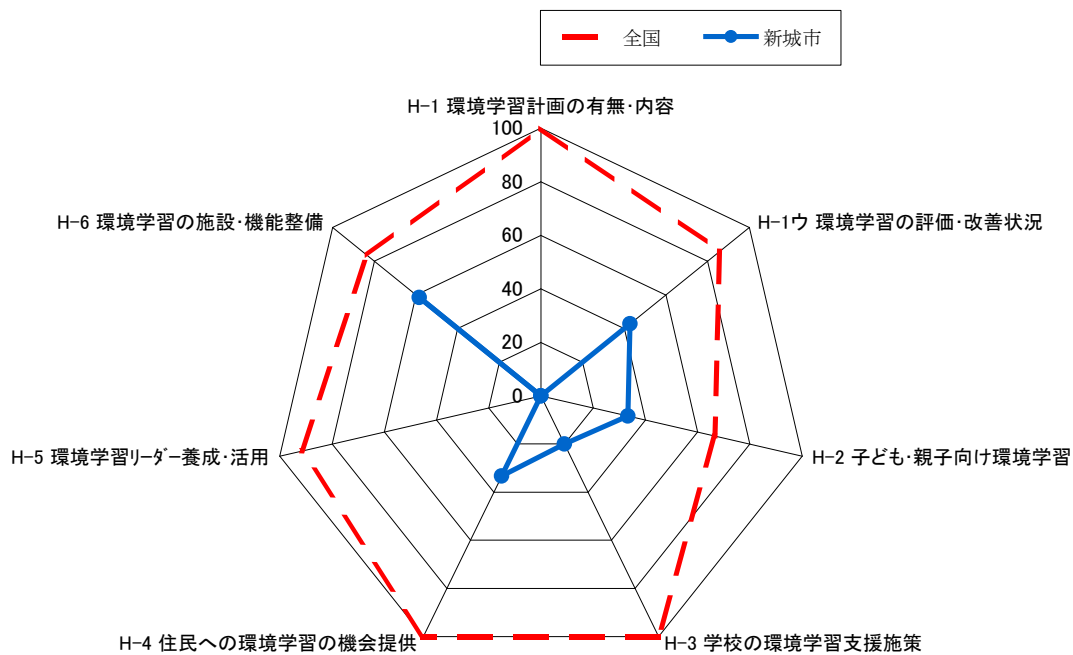
F 職員の資質・政策能力向上、総合的な行政推進と予算編成



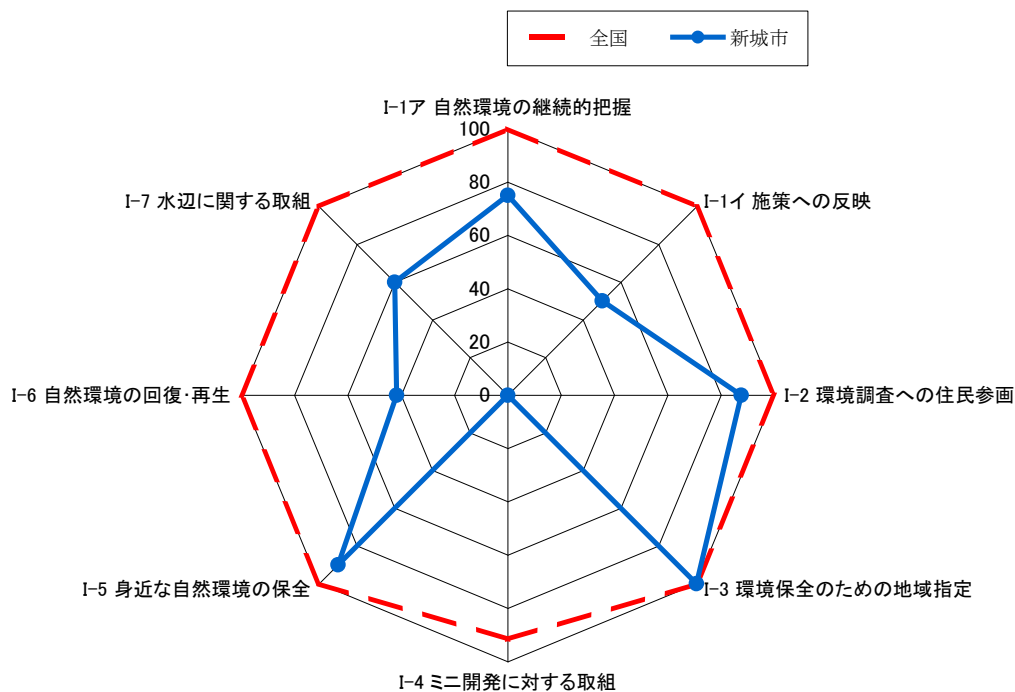
G 住民のエンパワーメントとパートナーシップ



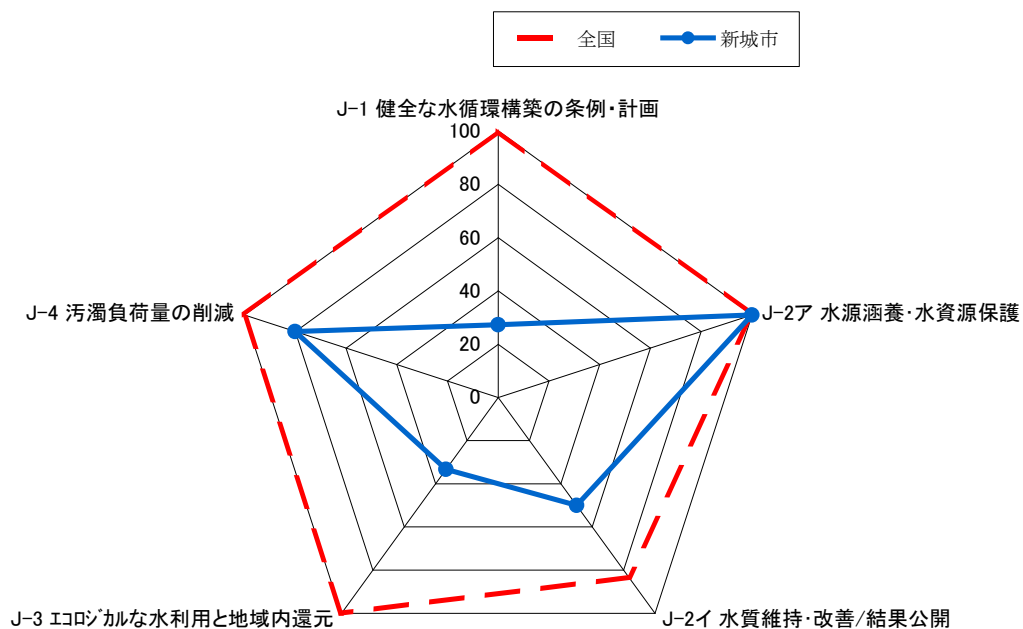
H 環境まちづくり学習



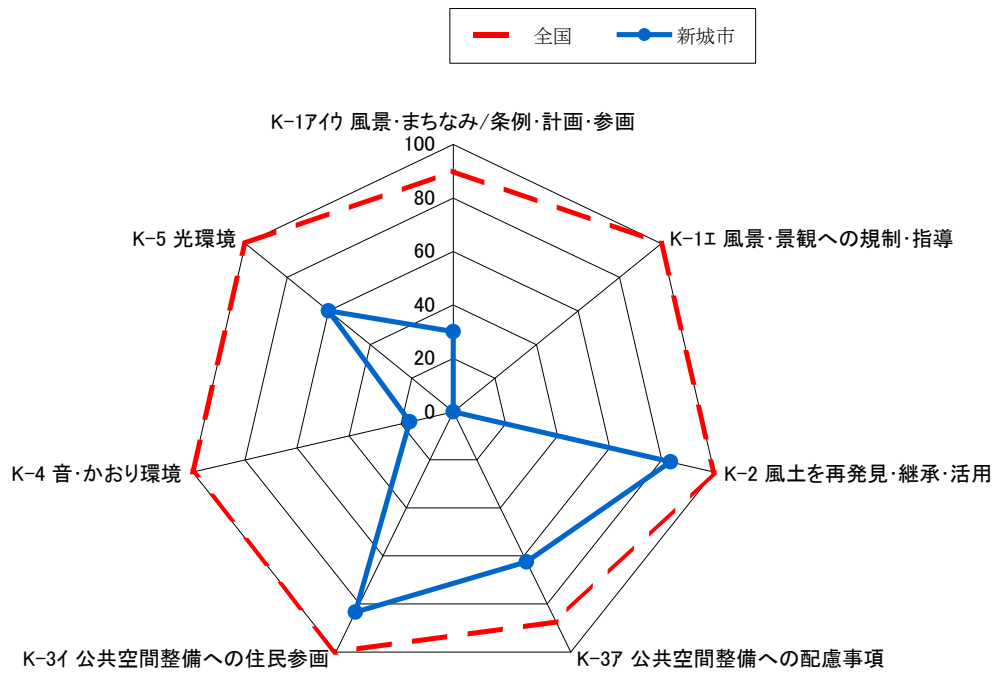
I 自然環境の保全と回復



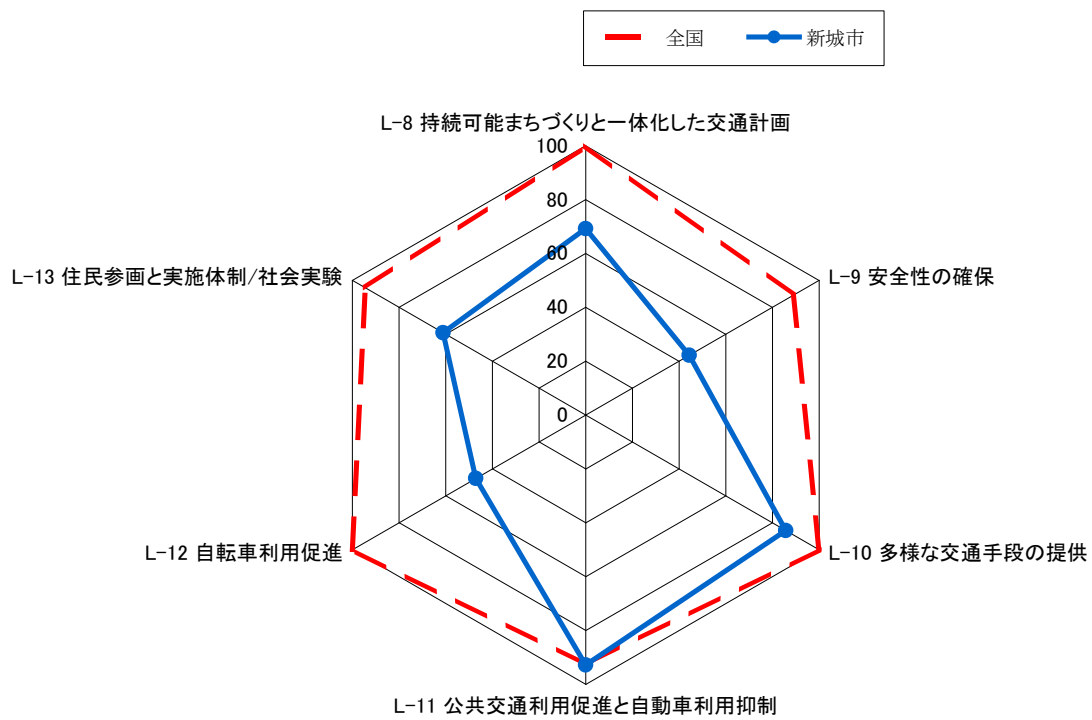
J 健全な水循環



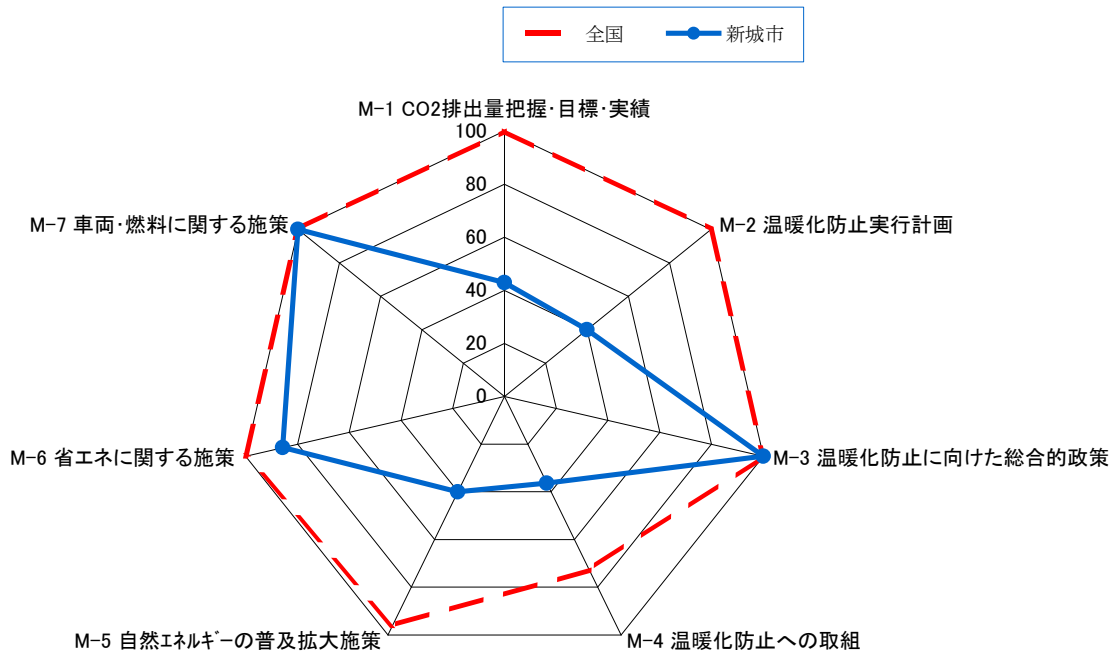
K 風土を活かした風景づくり



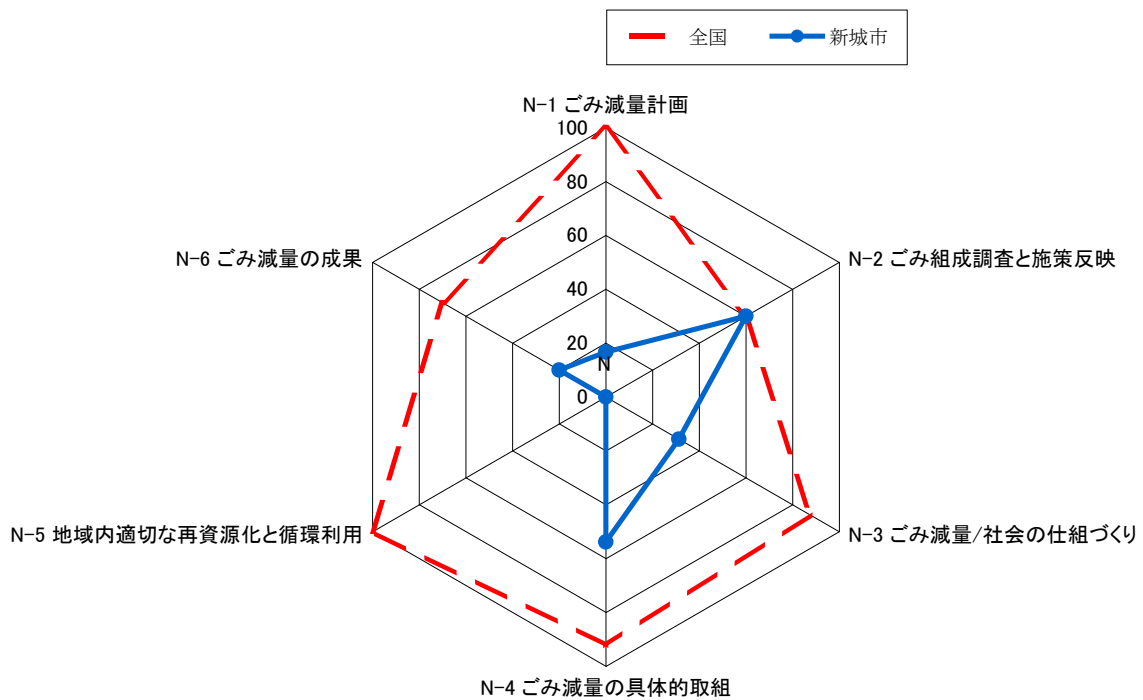
L 持続可能なまちづくりと一体化した交通政策



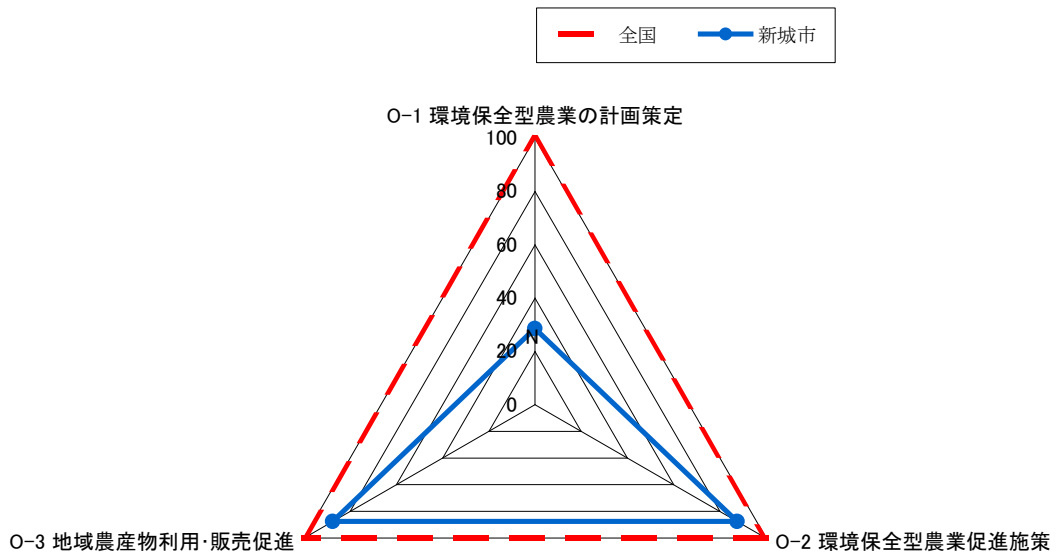
M 地球温暖化防止・エネルギー政策



N ごみの減量化



○ 環境に配慮した産業の推進【農業】



○ 環境に配慮した産業の推進【林業】

※本項目における順位 全国第1位

